



上原中だより

NET UEHARA(URL: <https://shibuya.schoolweb.ne.jp/ueharaj>)
 教育目標 自主・自律 共生 未来の創造

令和5年 6月 行事予定

日	曜	学校行事等	時程	給食	1年						2年						3年					
					1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
1	木	眼科検診 安全指導	A	0	0	0	0	0	0	道	0	0	0	0	0	道	0	0	0	0	0	道
2	金	学校運営協議会	A	0	0	0	0	0	0	総	0	0	0	0	0	総	0	0	0	0	0	総
3	土																					
4	日																					
5	月	全校朝礼 教育実習始 【都】学力調査(2)	A	0	学	0	0	0	0	学	0	0	0	0	0	総	学	0	0	0	0	総
6	火		A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7	水		A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8	木	前期中間テスト	特	x	理	国				理	国					理	国					
9	金	前期中間テスト QU①	特	0	数	英	社	学		数	英	社	学			数	英	社	学			
10	土																					
11	日																					
12	月		A	0	学	0	0	0	0	学	0	0	0	0	総	学	0	0	0	0	総	
13	火		A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	水	生徒会専門委員会	A	0	0	0	0	0	0	専	0	0	0	0	0	専	0	0	0	0	0	専
15	木		A	0	0	0	0	0	0	道	0	0	0	0	0	道	0	0	0	0	0	道
16	金	【都】学力調査(1)	A	0	0	0	0	0	0	総	0	0	0	0	0	総	0	0	0	0	0	総
17	土																					
18	日																					
19	月	生徒朝礼	A	0	学	0	0	0	0	学	0	0	0	0	総	学	0	0	0	0	総	
20	火	脊柱側弯検診	A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	水	体育祭予行練習	A	0	0	0	0	0	学	0	0	0	0	学	0	0	0	0	学			
22	木		A	0	0	0	0	0	0	道	0	0	0	0	0	道	0	0	0	0	0	道
23	金	体育祭準備	A	0	0	0	0	0	準備	0	0	0	0	準備	0	0	0	0	準備			
24	土	体育祭	特	0	行	行	行	行	行	行	行	行	行	行	行	行	行	行	行	行	行	
25	日	教育実習終																				
26	月	振替休日																				
27	火	学校公開日始	A	0	学	0	0	0	0	学	0	0	0	0	0	学	0	0	0	0	0	
28	水	スポーツテスト 職員研修会議	A	0	行	行	0	0	職	研	行	行	0	0	職	研	行	行	0	0	職	研
29	木	避難訓練 復習確認テスト(3年)	A	0	0	0	0	0	0	道	0	0	0	0	0	道	0	0	0	0	0	道
30	金	定期健康診断終	A	0	0	0	0	0	0	総	0	0	0	0	0	総	0	0	0	0	0	総

「オタマジャクシのうんどうかい」

校長 浜田 真二

主人公はオタマジャクシのタマといます。タマは、しっぽが半分しかなく、泳ぎ競争ではいつもビリである。運動会本番を前に仲間たちが「このままでいいのかわ。」とタマのためにいろいろな方法を考える。「しっぽにはっぱをつける」「順位をつけるのをやめる」など。結局、仲間たちが考え出した方法は、「みんなの半分の距離からスタートすること」だった。しかし、運動会当日、みんながスタートしてもタマは泳ぎ出さない。タマの本当にしたかったことは、みんなと同じようにスタートして一緒に泳ぎたいことだったのだ。

『オタマジャクシのうんどうかい』阿部 夏丸作／講談社より



仲間たちはタマのために良かれとていろいろ考えました。タマの気持ちや公平さについても一生懸命に考えました。この話は「真に相手の気持ちを考えること」は難しく、そして大切なことであると気付かせてくれます。

新年度が始まり1ヵ月以上経ちました。新たな環境で、学級の仲間や先輩との新たな出会いの中で、見方や考え方の多様性を実感することが多くなったと思います。同時に、自分の考えや意見と相手との違いを理解しつつも、自分の考えや意見を伝えることの大切さを感じる機会も増えてきました。また、伝えることとともに、相手の立場に立ってその考えや意見を聴くことで、真の相互理解ができることも少しずつ経験しているはずです。

学年が上がるにつれて、ものの見方や考え方が確立するとともに、自分の考えや意見に固執する傾向も見えてきます。また、自分と他者の考えや意見の違いが明らかになることを恐れたり、考え方の違いから仲間だと思っていた関係に摩擦が生じたりして、悩み、孤立する場合があります。その一方で、過剰に同調する傾向も生じやすく、いじめのような問題に発展することもあります。安易に人の意見に合わせることで、現実から逃避したり、自分さえよければよいという考えをもったりすることもあります。

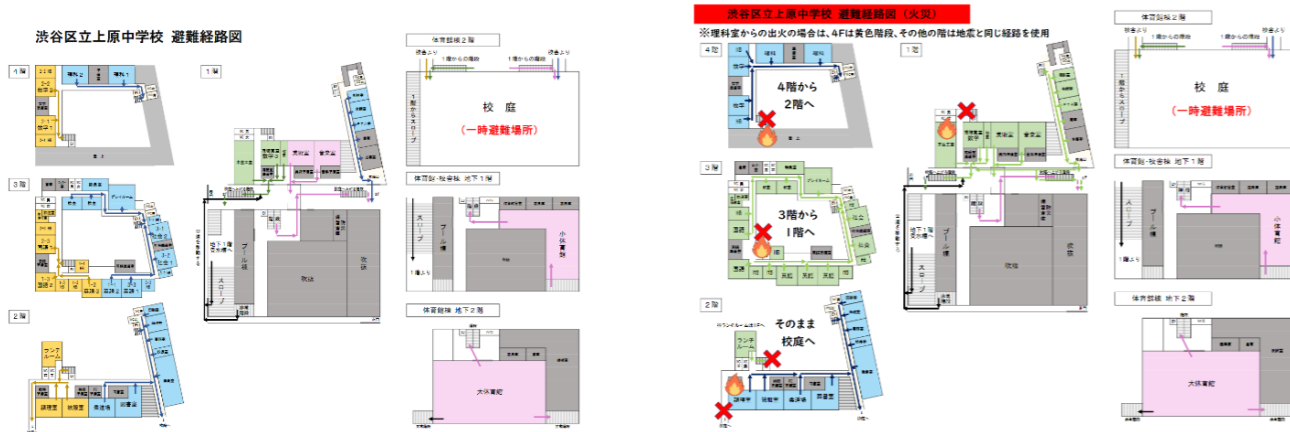
自らの意志に背いて他に同調するのではなく、自分の考えや意見を伝えること、そして互いの個性や立場を尊重し、広い視野に立っていろいろなものの見方や考え方があることを理解しようとするのが大切です。いろいろなものの見方や考え方から学び、自分自身を高め、他者と共に生きるという気持ちで、判断し行動することの大切さを理解できるようになって欲しいです。誰もが様々な立場に立って個性を発揮することのよさと、相手や場面が変わっても、寛容の心を持ち謙虚に他に学ぶことが人間としての成長に役立つことを理解できるよう学校生活のいろいろな場面で指導していきたいです。

避難訓練を実施しました

4月27日（土）に「地震」を想定した避難訓練を行いました。実際に防御姿勢をとり、校庭まで避難行動を行いました。約300人の生徒が迅速に避難をするためにどんなことが必要なのかを考えながらの訓練になりました。訓練で得られた課題を克服するために次の訓練では注意しましょう。



各教室には下のような避難経路が掲示されています。



土曜日授業の様子（5.13）

5月13日（土）の授業では、1年生は総合的な学習でD級ポンプ訓練を行いました。D級ポンプとは、首都直下地震など大災害が発生した際に、区民が使える軽可搬ポンプのことです。ポンプのエンジンをかける役、放水の合図を出す役、筒先を持って放水にあたる役を予定していましたが、生憎の天候で一部内容を変更して実施しました。訓練では、渋谷消防署の方の「火事だー」の合図をもとに生徒も「火事だー」と大きな声を出して、火元に走っていく様子がありました。東京にもいつ大地震が来るかわかりません。地震による火災が発生した場合、初期消火を迅速にできるのは地元で詳しく、体力もある中学生です。地域を守る人材を地域全体で育成するという観点から、中学生がこのような実践的な防災訓練を行うことは非常に重要なことです。さらに、地域の一員として主体的に活動することは、SDGsの目標11の「住み続けられるまちづくり」にもつながっています。上原中学校では、総合的な学習の時間の中で、「SDGs（Sustainable Development Goals）」：持続可能な開発目標をテーマに学習していま

す。これからも住み続けられるまちづくりを推進していくために、自分に何ができるのか、D級ポンプ訓練をきっかけにして考えていきましょう。

2年生と3年生と明星学級は、教科の授業を行いました。どの授業も真剣に授業に参加している様子がありました。



第一回 学校運営協議会 日時:令和5年4月28日(金)15:30-16:30 場所:施設開放室

第1回学校運営協議会を開催しました。学校運営協議会は、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え、地域とともにある学校づくりを進めるものです。学校運営協議会の主な役割として、学校運営の基本方針を承認することや学校運営に関する意見を述べるなどがあります。上原中学校は地域住民等と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子供たちを育む「地域とともにある学校づくり」を推進しています！



昨年度末に退任した、元委員長の長山敏樹様(右)と元委員の福島秀夫様(左)です。これまで長い間、本校の学校運営委員として支援いただき、本当にありがとうございました。